



南台 校長室だより

令和3年度

No. 96

～HPにはカラー版を掲載しています～

はりきって、おだやかにスタート

授業再開から半月になります。9月1日から子供たちははりきって登校してきました。友達と会えること、みんなで遊べること、学習することを楽しみにしていました。一方、改めて感染症予防についての確認をし、「なぜ、このようなことをしなければならないのか。」を全校朝会で各学級で伝えました。「鼻までマスク」、「食事後にも手洗い」、「給食を食べる時の無言」をポイントとしています。ご家庭でのご家族も含めた健康観察へのご協力もありがとうございます。前期後半が始まりました。

様々なことをはりきっているけれど、おだやかなスタートが切れませんでした。感染症予防の他に「人の話を考えながら分かって聴こうとすること」も全校共通のポイントです。各学級で子供たちは先生を助け、時間を生み出して生活、学習の様子が見られます。

その一方で、個々にはこの節目のリズムに乗れないこともあるかと思えます。心配事がありましたら、担任まで申し出てください。しっかり相談し対応していきます。

3年生になってがんばったこと

ぼくは、3年生になって算数のあまりのあるわり算をがんばりました。はじめは、あまりを考えることがむずかしかったです。しかし、算数のじゅぎょうで、あまりを考えたときには、ひき算をつかうことや、あまりの数がわる数よりかならず小さくなることなどを学んで分かるようになりました。今では、あまりの数がすぐに頭にくんでくるようになりました。ぼくは習ったことに気をつけて、くり返し問題をとくことで算数が分かるようになってよかったです。算数をこれからもがんばって問題をとけるようにしたいです。

(3年1組 いぬい そうすけ)

以上の文章は7月の夏休み前朝会での児童代表の言葉です。がんばりたいことを見つけ、それに取り組んだ様子やその気持ちがよく分かります。前期後半、一人一人が自分のチャレンジしたいことに挑戦し、自分の力を伸ばして行って欲しいと願っています。

旧校舎の解体が始まりました

旧校舎の解体作業が始まりました。「8月23日から作業が始まります。」という区教育委員会からの連絡をいただき、旧校舎を訪問しました。初日は正門の取り外しとフェンスの設置でした。重機で正門が取り外されるのを目の当たりにし、大変複雑な思いになりました。正門の校名プレートを外してくださったので、メモリアルコーナーに設置します。

子供たちには13日の全校朝会で(株)ぺんてる、Canonからいただいた「校舎の思い出プロジェクト」のパネルと共に正門の外されている写真、校名プレートを紹介しながら旧校舎解体のお話をしました。

新校舎への移転は令和7年4月です。3年以上の工事が続きます。工事車両の安全誘導や新校舎建設の進捗は月1回、施工業者、教育委員会等関係者で連絡会をもって進めていきます。新校舎のイメージ図も玄関事務室前、保健室前、地域コミュニティ室に掲示しています。ご来校の際に見てください。



